

日本共産党  
流山深井後援会

# ニュースあすなる

16年1月15日  
第203号  
発行責任者  
菊池 伍郎  
TEL/FAX  
7154-0526  
(部内資料)

## 戦争法廃止へ全力! 参院選で統一候補 動き加速

二ニュースあすなる・こぶし読者のみなさん、  
明けましておめでとうございます。  
昨年、戦後70年と節目の年。安倍自公政権は国民に説明不十分のまま、安保法(戦争法)を強行可決しました。  
「積極的平和主義」や「国際貢献」との名のもとに、憲法9条を踏みにじり、自衛隊を海外で殺し殺される国に変えました。国会では決まりましたが多くの皆さんの力で廃止に追い込むことができます。  
7月には参議院選挙が行われます。今年も引き続き「戦争法廃止2000万署名」と立憲主義・民主主義を守るため、日本共産党は多くの市民や団体、野党が共同し「国民連合政府」樹立を呼びかけています。安倍政治の暴走と独裁政治を許すことはできません。自公政権を少数に追い込み、戦争法廃止、憲法9条とくらしを守る新しい政治の年にしようではありませんか。今年もよろしくお願ひ致します。

こぶし後援会会長・小倉卓郎  
あすなる後援会会長・菊池伍郎  
すでに軽んじられた時代があったでしょう。赤紙一枚で我が子を戦場に駆り出される母の心の叫びが繰り返されるような、そんな政治を変えるのは、ママであり、若者であり、戦争を体験された方々であり、国民です。

人としての尊厳を私たちが国民の力で取り戻した。歴史的な年となるよう、参議院選挙で必ず勝つ！皆さんと心ひとつに頑張ります。  
☆☆☆☆☆☆☆☆  
日本共産党・参院比例  
代表予定候補  
推葉かずゆき  
新年おめでとうございます。  
後援会員のみなさまと力をあわせ、昨年のいっせいで地方選で躍進することができました。住民要求の実現でも、共同のたたかいでも、地方



新年のメッセージ  
日本共産党参議院  
千葉県選挙区予定候補  
補 浅野ふみ子  
明けましておめでとうございます。  
万葉集にも詠われた「子は宝」の精神が、これほど

参院選千葉選挙区  
予定候補 浅野ふみ子



参院選比例  
予定候補 推葉かずゆき

### 再稼働やめ 原発から撤退を!!



迎春  
葉を胸にきざみ、後援会や運動で出会った方々と力をあわせ、2000万署名の達成に力を尽くします。

日本国憲法に立った政権をつくるには参院選のたたかいかかっています。「自公大敗北」「共産躍進」との結果が出せるよう力いっぱいがんばります。

### 1月3日 流山市議団4人が市内各地で「戦争法なくす政府を!」と訴え



植田和子 議会報告会  
1月31日(日)午後1時～3時  
北部公民館 1階 第2会議室  
みんなの力で立憲主義を取り戻そう!  
12月議会の報告と  
参議院選挙で戦争法廃止の国民連合政府を  
入場無料です。お誘いあわせておいでください。

東京では日の丸君が代の強制に反対して処分された人たちが裁判を闘っている。都教委は式典で壇上に日の丸を掲げ、それに向かってお辞儀させ、生徒、教職員に君が代を歌うことを強いる。そのために校長を呼びつけ、教職員を処分で脅し、学校それぞれの創意工夫をつぶし、およそ教育現場にふさわしくない監視をし、抵抗する先生を処分してきた。処分された人々が裁判に訴えた。教職員の監視や裁判など、この問題に膨大な人件費、国民の税金が費やされた。裁判所もさすがにこの異常な事態は放置できないと再三にわたって都教委に正すよう意見を述べてきた。そして判決はこの関係の裁判でなんと都教委は11連敗だ。それでも懲りずに処分を続けている。教育現場に違法行為がまかり通っている。無理が通れば...というのは安倍内閣の憲法無視と同根だ。安倍内閣はそれを批判する声を黙らせようと秘密保護法を決めた。それでも足りずにこんどは「緊急事態法」などと災害時対策を装って人権の停止まで合法化しようとしている。戦争法にはまだ続きがあり、まさに人権の危機であり立憲主義、法治主義の危機だ。

政権に『これは危険な』と、多くの人が立ち上がったという、新たな国民運動のスタートの年となりました。  
今年には参議院選挙もありませんし、国民の意思表示をしつかり示すことができる年です。権力の使い方を間違える政治家は要りません。独裁政治家と言われる政権も要りません。戦争をしない国、戦争に協力しない国、命を大事にする国づくりに奮闘してくれる人に国会議員になってもらおうではありませんか。  
みなさんと一緒に、力をあわせて、平和な未来を語れる年、希望ももてる年になるよう、私も頑張ります。

こんにちは 植田和子です ☑☑☑☑☑  
1月1日 明けましておめでとうございます。  
2016年の幕開けです。2015年は、みなさんと力をあわせて、無事に北部地域の日本共産党の議席を守ることができました。本日に、ありがとうございます。  
みなさんに支えて頂きながら、助けて頂きながら2期目の活動をスタートさせて、もう半年が過ぎてしまいました。議会と日常活動の両立に苦戦が続きますが、いつもあなたたちが見守って下さるみなさん、いつもいつもありがとうございます。  
そして、2015年は、国民世論を無視した強引なやり方で、平和のためだと言いつつ、戦争の準備を着々と進める安倍

ヘッドライト  
都教委は式典で壇上に日の丸を掲げ、それに向かってお辞儀させ、生徒、教職員に君が代を歌うことを強いる。そのために校長を呼びつけ、教職員を処分で脅し、学校それぞれの創意工夫をつぶし、およそ教育現場にふさわしくない監視をし、抵抗する先生を処分してきた。処分された人々が裁判に訴えた。教職員の監視や裁判など、この問題に膨大な人件費、国民の税金が費やされた。裁判所もさすがにこの異常な事態は放置できないと再三にわたって都教委に正すよう意見を述べてきた。そして判決はこの関係の裁判でなんと都教委は11連敗だ。それでも懲りずに処分を続けている。教育現場に違法行為がまかり通っている。無理が通れば...というのは安倍内閣の憲法無視と同根だ。安倍内閣はそれを批判する声を黙らせようと秘密保護法を決めた。それでも足りずにこんどは「緊急事態法」などと災害時対策を装って人権の停止まで合法化しようとしている。戦争法にはまだ続きがあり、まさに人権の危機であり立憲主義、法治主義の危機だ。